

遠賀川と人と

太田 勇司氏
遠賀川川下り大会実行委員長



平成19年7月28日(土)、飯塚市のがみプレジデントホテルで「第10回全日本いかだサミット」が開催されました。遠賀川でこのサミットが開催されるのは今回で2回目ですが、全国各地(北海道・九州)から、いまだレースを開催している6団体が集い交流を深めました。

全日本いかだサミット
遠賀川川下り大会開催

遠賀川流域だより

第005号

2007・10・1

翌日には、「第28回 遠賀川川下り大会」が開催されました。(開催の様子は3面)
四半世紀にわたって大人たちを魅了してきた「遠賀川川下り大会」。現在は、全行程23kmのコースを選手交代をしながらのレースですが、大会開始当初は、飯塚市から北九州市の取水口のある河原までの26kmを、交替なしで延々と漕いでいたそうです。

部下の一言から始まった 地域活動

この大会の実行委員長を努められている太田勇司さんは、田川市立病院の医師です。
太田さんはよくお酒も飲まれるのですが、あるとき、部下の方に「この頃よく愚痴を言われるようになりましたね。」と言われたそうです。
「仕事以外に何かをしなれば」と思われた太田さんは早速



「筑豊ゼミ生」となり、更に「遠賀川川下り大会」に仲間3人で参加されました。

仲間は年々増え続け、現在の田川市立病院では4隻(48人)が出走、家族や応援団を入れると70数人の人々が遠賀川川下り大会を楽しんでいます。このことが契機となり、彦山川で「川は友だち」を開催。「川渡り神幸祭」を捨て止そうキャンペーン、「田川未来塾 世話人代表」、「福岡県立大学と共に歩む会 副会長」等の要職を務め、様々な街づくりに貢献されて

遠賀川流域だより5号のご案内

- P1 遠賀川と人と
遠賀川川下り大会実行
委員長 太田 勇司さん
- P2~3 遠賀川といかだレース
- P4~5 夏休みの取り組み
- P6 曲川清掃活動報告
遠賀川源流下草刈り報告
- P7 遠賀川の生きものたち
- P8 遠賀川河川事務所からのお知らせ

います。
今夏に太田さんは田川市から福岡市の病院へと変わられました。田川や筑豊の住民にとっては大変な悲しみですが、外から遠賀川・筑豊を見て、川づくり・まちづくりについてのアドバイスをしていただきたいと思います。

また、遠賀川川下り大会ではますますのご活躍を期待しています。



田川市立病院チームにカップを渡す太田さん

親子で挑戦

舟の部	時間
優勝 小竹龍舞龍舞会	1時間17分
準優勝 あほうどり H19	1時間54分
3位 宮田病院 ディケア	1時間56分
4位 本城公民館	2時間03分
5位 アシスト福岡	2時間04分
イカダの部	時間
優勝 中田ホームズ3号	2時間12分
準優勝 中田ホームズ1号	2時間26分
3位 中田ホームズ2号	2時間34分
4位 光康中学校	2時間38分
5位 長井鶴 若鶴塾	2時間51分
子どもの部 大会会長賞	時間
優勝 あほうどり H19	1時間54分
準優勝 本城公民館	2時間03分
3位 光康中学校	2時間38分
4位 宮田中学校	4時間05分
創作の部	
最優秀賞 鞍手竜徳高等学校	
ライオンズ賞 長井鶴 若鶴塾	
努力賞 宮田病院 ディケア 外14チーム	

犬鳴川は、宮若市を横断し直方市で遠賀川と合流する宮若の母なる川。この川で毎年、手づくりイカダ(舟)の川下り大会が行われました。

今回も地域の職場や学校、親子など、様々なチームが創意工夫して作ったイカダ(舟)23隻で競われました。残念ながら雨に見舞われ、選手も応援団も雨の中の大会となり、なかなか思うように進まないイカダもあり、無事ゴールにたどり着くと、完走した喜びで、笑顔が溢れていました。

犬鳴川は堰がなく、安全にイカダレースを楽しむことが出来るコースとして、小学生や中学生もたくさん参加しています。



優勝した小竹龍舞龍舞会の皆さん。



準優勝のあほうどりH19チームは親子で参加



第10回犬鳴川川下り大会が、宮若市から直方市の植木までの9kmのコースで開催されました。

主催 犬鳴川川下り実行委員会

遠賀川といかだレース



かつて、遠賀川流域一帯は、水田耕作地として栄え、また、江戸時代以降、特に明治中期から石炭産出地として、日本の経済を支えてきました。

古来より水運には、水深の浅い遠賀川に合わせて、船底の扁平な川舟、川ひらた(五平太舟)が用いられていました。最盛期には8千隻あったとも言われた川ひらたは、昭和20年代に姿を消しました。五平太舟には舟だんすや水瓶、かまどなどが備えられ、川と舟と人々の暮らしが密着していたことがうかがえます。

当時をしのぶと共に、きれいな遠賀川を、と呼びかけ、飯塚市で昭和54年から「遠賀川川下り大会」が開催され、その後、嘉麻川の八反田(嘉麻市)や犬鳴川(宮若市)で、手づくりのいかだや舟で、タイムを競う大会が開催されてきました。

川のぼりに挑戦

この大会はスタート地点から川を下って、折り返し地点より、下流から上流へのぼります。

1チームが2回挑戦し、合計タイムで順位を決め、上位5チームで決勝戦を行います。

競技終了後には、選手も応援者もみんなで、会場や河川敷のゴミ拾いを行いました。

成績発表	
優勝	UNITY×ユニティー
準優勝	藤スチール
3位	下臼井東レッドスイングI
4位	UNITY×ユニティー フラガール
5位	嘉麻市職労ユース部
デザイン賞	徳波町商工会青年部
パフォーマンス賞	ひまわり会
コスチューム賞	嘉穂総合高校農業クラブ



往復1.2km。5組で決勝戦です。



終了後はみんなで河川敷の清掃を行います。



第10回八反田・川のぼりイカダレース大会が、5月3日(木)嘉麻市上臼井で開催されました。

主催 八反田・川のぼりイカダレース大会実行委員会

日本一の距離に挑戦

大会結果(飛賞を含む)

順位	イカダの部	タイム
優勝	高田工業所・職人	3:02:38
準優勝	穂波消防第6分団	3:02:42
3位	ネットヨタ北九州	3:14:16
4位	根 性 号	3:28:10
5位	池 田 石 油	3:33:49
6位	オーシャンズ13	3:41:30
7位	カミショウ号	3:51:18
8位	ちょ医悪号	3:55:04
9位	ZERO	3:59:01
10位	新川町ヤマキチ会	4:03:01
15位	花いかだ号	4:31:12
20位	木屋瀬みまもり隊	4:50:47
25位	きりぼん号	5:24:47
28位	タイタニック号	5:41:01
29位	国交省遠賀川57番	5:43:06
30位	コココーラ飯塚支店	6:18:30
31位	コブッソ	7:18:20

順位	舟の部	タイム
優勝	あうあう重工	2:42:30
準優勝	ジャブジャブ会	2:57:36
3位	カミカミ号・近畿大	3:13:02
5位	スーパーヴィッツ	4:37:12
7位	かいぞくイモリ号	5:37:38
10位	宮若市川下り	6:21:18



この大会には、日本一長い距離と厳しい堰が4カ所あります。その一つ、小竹町にある鴻の巣の堰。今回は52チーム(約5百人)でタイムが競われましたが、選手も応援団も堰を超えるのに必死。うまく水に乗って越えたチームもありました。



うまく水に乗って

第28回遠賀川川下り大会が、7月29日、飯塚市から北九州の木屋瀬までの23kmのコースを競いました。

主催 遠賀川川下り大会実行委員会

水生生物調査

8月21日(火) 田川市伊田番田河原
田川市立伊田小学校4年生



川の中に入って石の裏に付いている水生生物を調査。

田川市伊田小学校では学校近くの彦山川で水生生物調査が行われました。この調査は今年で12回目、遠賀川河川事務所や県土木事務所、田川保健福祉事務所、田川市役所環境対策課などの皆さんが講師となって実施されました。児童は5、6人のグループに別れ、川の中へ。恐る恐る入っていた子ども達も、しだいに小さな生き物を見つけるのに懸命になりました。スジエビをたくさん捕まえ、暑い一日でも気分は最高でした。今回の調査ではスジエビの他、コガタシマトビゲラ・ヒルなども見られました。昨年と同じように、少し汚い水の生き物が多かったため、児童達はもっときれいな川にしていきたいと話していました。



風車、きれいにできたよ。



小さい生き物がいっぱい。



もっとよく見てみよう。



どんな生き物がいたのか発表です。

調査結果を発表



小さな生き物の種類や数を調べている。

夏 めだかの学校

8月25日(土) 香春町 フレッシュワークかわら
主催 金辺川を楽しむ会

生き物調査は、近くに安全な調査地点がなかったため、金辺川の水や石を採取し室内で観察しました。石の裏には小さな生物がいっぱい。どんな生物がいるかを本と見比べながら一生懸命に観察しました。子ども達はサワガニやえびやシジミを見つけると楽しそうにさわっていましたが、初めて見るヘビトンボやゲンジボタルの幼虫を見て「気持ち悪い」と言っていました。講師から、「これがきれいなほたるになるんだよ」と教えてもらおうと、びっくりしながらも、まじまじと見入っていました。今回の調査では、ブユ・ヘビトンボ・ヒラタカゲロウ・サワガニなど、きれいな水にすむ生き物達が多く見られました。「これからはきれいな水にすむ生き物がたくさん居るような川にしていこう。」という講師の話にうなずいていました。後半はペットボトルの風車作り。声も出ないほど真剣に作っていました。出来上がりに、満足・満足。



台風のせいで、当初の予定日から延びました。



8月1日(水) 嘉麻市
主催 芦屋町の自然を守る会

こども探検隊

台風明けの8月1日、芦屋町沢登り探検隊は、地元の足白小学校の児童とともに青木宣人さんの指導のもと、ヘルメットとライフジャケットを身に着け遠賀川の源流に挑戦しました。すべったり、ころんだり、それでもみんなで前に進みます。時には胸まで水につかりながら大きな岩や小さな滝を越えました。どの子の目もいきいきと輝いています。

水生生物調査では、清流の証のヤマトトビゲラ、ヘビトンボ、サワガニやカスミサンショウウオを捕まえて嬉々として声を上げました。「川の水はものすごく透き通っていた。」「いつも飲んでいる水より甘かった。」「上流の水はきれいなものになぜ遠賀川はきたないのだろう。」「遠賀川を汚して生き物を殺しているのは人間だ。」「川を守るには、一人一人が協力し、ちょっとしたことでも川や地球にやさしくらしをしよう。」「子どもたちは自然を肌で感じ、たくましくなったようです。沢登りは自然の厳しさを知り、自然に対する畏敬の念が芽生え、そして冒険心を沸き立たせます。『自然が子どもの感性を育て、生きる力を育む』、まさにそれを実感した一日でした。流域の子どもたちが自然の川体験を通して環境問題に関心をもってくれば嬉しく思います。



いよいよスタートです。



豚汁もおいしいよ。



優勝した穂波海洋クラブ Bチーム



がんばった川島チーム



清掃活動もみんなで。

休み カヌー駅伝大会

8月5日(日) 飯塚市川島遠賀川河川敷
主催 NPO法人遠賀川流域住民の会

今夏で4回目を迎えたカヌー駅伝大会が飯塚市川島の河川敷で開催されました。毎年楽しみに参加しているチームや親子で初参加したチームなど、この大会を楽しみにしている選手たちがタイムを競いました。

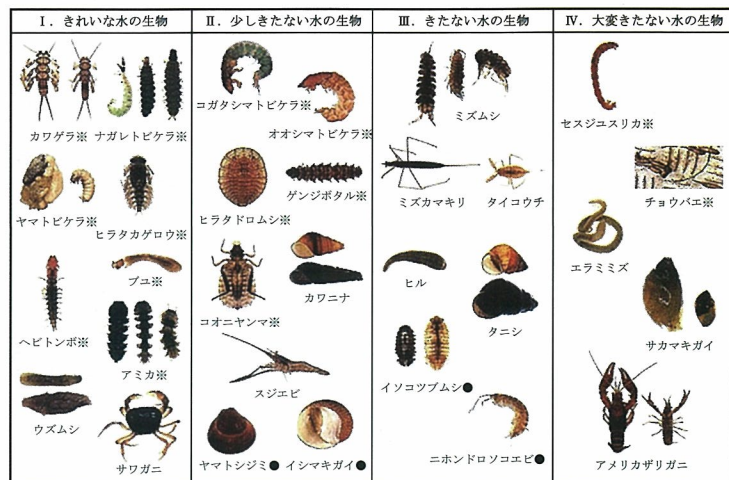
中州を回る一周500mのコースを、パドルをタスキの代わりにして、5人が交代で2.5kmのタイムを競います。小学生から大人まで懸命にパドルを漕ぎ、優勝を目指しました。優勝は穂波海洋クラブBチーム。おめでとうございます。

競技終了後には、選手も応援者もみんな、河川敷のゴミ拾いを行いました。その後、準備された豚汁を食べながら、河川敷でひと時を過ごしました。

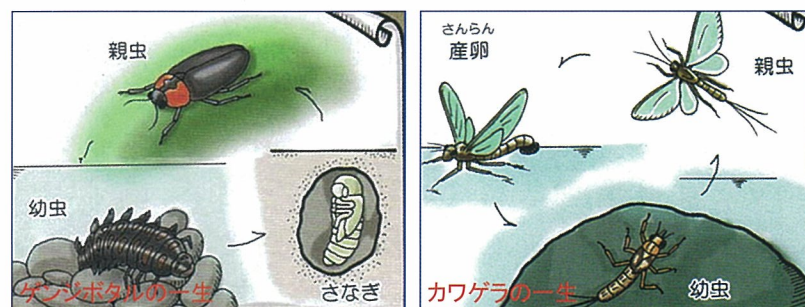
順位		
優勝	穂波海洋クラブ Bチーム	15分53秒
準優勝	だいふアンビシャス Aチーム	16分16秒
3位	チーム嘉穂	18分32秒
4位	IIZUKAカヌークラブ Aチーム	18分39秒
5位	穂波海洋クラブ Aチーム	19分46秒
6位	川島チーム	25分16秒

遠賀川の生きものたち

川の中の小さな 小さな 生きもの達



※は幼虫、●は汽水域の生物を表す。



※上記2点、河川環境財団発行「川の生きものを調べよう」より抜粋



伊方小学校(福智町)の児童が福智町上野峡の小川で生物調査。きれいな水にすむ生物がたくさんいました。(平成19年5月)



「田川ふるさと川づくり交流会」主催で、福智町めだかの楽校で、田川市の子ども達を対象に、「ダガッパ学校 in 田川 2007」を開校、水生生物調査が行われました。スジエビやカワニナ・シジミなど、少し汚い水にすむ生き物が多くいました。(平成19年6月)

みんなできれいな川にしよう

きれいな川でも、たくさんのゴミなどが溜まると水の流れが悪くなり、水がよどみ、きたなくなると、大変きたない水の指標生物がすむようになります。使った水はきれいに川へ戻しましょう。川には一人で行かないようにしましょう。

川の中にはたくさんの生きものがすんでいます。特に、川底にすんでいる生きもの達は、その周辺の水質の状態を私たちに知らせてくれます。この生物を「指標生物」といいます。

きれいな水

水が澄んで、川底まで見え、川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物や木々があり日陰があります。ヤマメなどの魚がいます。また、ヤマセミなどが飛んでいます。オニヤンマやカゲロウなどは産卵して、幼虫の時期を川の中で過ごし、成虫になると、空中を飛んでまわります。

少しきたない水

周りに田んぼや人家があり、水はややにごっているような所です。川の中の石を持ち上げると、たくさんの生き物を見ることができます。魚ではアユやカワムツがいます。ゲンジボタルの幼虫やその餌になるカワニナがいます。

きたない水

川の周りには多くの家が見られ、家庭から流される排水路が川につながっているような所です。魚では、オイカワやコイ、鳥ではコサギが見られます。指標生物は、タニシ、ヒル、ミズムシなどがいます。

大変きたない水

工場やたくさんの人々が住み、川岸が壁のようなコンクリートなどで作られています。川の水の流れがなく、ゴミが多く、水はよどみ、灰色っぽくにごっているような所です。ゴミがたまると、ますます川の水の流れは悪くなり、セスジユスリカやエラミミズなどがすむようになります。

曲川をほたる・メダカ・トンボの棲む川に！

第2回 曲川清掃活動を開催

主催 クリーン・クリーンなかま



8月26日(日)中間市を流れる曲川で市内の環境保全団体の皆さんが集い清掃活動がおこなわれました。中間市は毎月第2日曜日を環境美化の日と定め、定期清掃活動を行っています。今年、中間市を流れる曲川の源流、中間市通谷一丁目で、「ゲンジほたる」が飛び交い、ホタルの復活が報じられました。「中間ほたる・メダカの会」の皆さんが「香月・黒川ほたるを守る会」の協力で昨年6月から、ホタルの卵から幼虫へと育て、今年2月の24日に曲川源流に5百匹の幼虫を放流

し、5月26日には、ほたる観察会が開催され、多くの地域の皆さんが水辺に集まり、その美しさに魅了されました。このほたるやメダカ・トンボを曲川流域に増やしたい、というのが皆さんの願いです。近年、中間市は家庭から出される排水の浄化設備も進み曲川もきれいになりつつありますが、やはりゴミは多いです。1時間半あまりの作業で、可燃ごみ18袋、不燃ごみ3袋、資源ごみ6袋、粗大ゴミ(自転車4台など)が集まりました。心と水辺にゴミは捨てないでほしい、というのが願いです。

遠賀川源流の山林を豊かに！

第11回 遠賀川源流下草刈り

主催 遠賀川源流の森づくり推進会議

8月5日(日)「遠賀川源流の森づくり推進会議」の呼びかけで、遠賀川の源流である嘉麻市馬見・長野の2カ所で流域の住民二百三十人のボランティアが参加して下草刈りが行われました。会では、源流の森の再生に取り組み、春に保水力や河川浄化機能を高める落葉樹の苗木を植え、夏には木々が元気に育つよう周りの草を刈る作業を行なってきました。また、この作業に先駆けて7月4日(水)、草刈りに使う鎌がよくきれるよう「鎌研ぎ」の作業もボランティアの皆さんで行われました。山が豊かになることで川も海も元気になることを願っています。



春の植樹の様子。鹿が苗木を食べないようにネットをはる。



200本の鎌を研ぎました。



夏の日差しの中の作業はきついが...

遠賀川河川事務所からのお知らせ

アジア・太平洋 子ども水交流会

本年12月に大分県別府市で開催される「アジア・太平洋水サミット」の公式関連行事として、アジアモンスーン地域としてつながりのあるアジアの子どもたちと遠賀川流域の子どもたちの交流を通して様々な水問題について話し合い情報交換するため「アジア・太平洋子ども水交流会」を開催します。

開催日

平成19年11月23日(金)

～25日(日)

開催場所

遠賀川水辺館、及び

ユメニテイのおがた小ホール

参加者

遠賀川流域の中学生、

及び高校生、海外、国内招待者

40名程度(中国、韓国、

インドネシア、ラオスの

4カ国を予定)

主催

アジア・太平洋子ども

水交流会実行委員会

問合せ先

遠賀川河川事務所 河川環境課

秋の中島(中間市) 自然観察ウォーク開催

中間市を流れる遠賀川に浮かぶ島「中島」は、市街地近くにありながら、たくさんの生き物が暮らしています。そこにはどんな自然が広がっているのでしょうか？中島を歩きながら、秋の自然観察を楽しんでみませんか？

開催日時

第1回10月27日(土)

第2回10月28日(日)

第3回11月3日(土)

第4回11月11日(日)

第1～3回10時～12時

第4回9時～12時

定員

各回30名。

事前申し込みが必要です。

郵送・FAXで10月24日(水)までに申し込みください。

※応募多数の場合は先着順となりますが、他の日程が空いている場合もありますので、当方よりご連絡致します。

参加対象

小学生以上の健康な方なら

どなたでも参加できます。

※18歳以下は保護者の同伴が必要です。

問合せ先

遠賀川河川事務所 河川環境課

遠賀川フェスタ開催

遠賀川を見ながら秋の一日を楽しんでいただけるように「遠賀川フェスタ」を開催します。楽しく参加できるメニューを多数用意していますので、秋の遠賀川をたっぷりお楽しみください。なお、当日は直方産業まつりも同時開催されます。みなさんのご来場をお待ちしております。

なお、当日は、交通渋滞が予想されますので、できる限り公共交通機関でお越し下さい。

開催日

平成19年11月4日(日)

開催場所

直方リバーサイドパーク、及び遠賀川水辺館

問い合わせ先

遠賀川河川事務所 調査課



大玉転がしもあるよ

あなたは どう 思いますか。



平成19年7月11日 撮影

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 (0949) 22-1830
FAX (0949) 22-2859
<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>
編集 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 080-1761-6892
<http://www.ongagawa.jp/>